

平成25年度静岡県茶業会議所事業報告  
(平成25年4月1日～平成25年11月4日)

当法人は、公益法人制度改革に伴い、平成23年10月7日理事会において、公益社団法人への移行の承認を受け、公益社団法人への移行に伴う事項について協議を重ね、平成25年2月20日において臨時総会を開催し、公益社団法人への移行に伴う定款・諸規定の承認を得て、監督官庁との調整を得て、平成25年3月25日総会において再度定款の承認を得て、移行申請の手続きを行うこととなった。

そして、平成25年8月8日県知事へ「公益社団法人」として移行認定申請し、平成25年10月21日県知事より認定書の通知を受け、平成25年11月5日公益社団法人としての設立登記を行った。

## 1 事業の概要

静岡県と業界団体は、平成24年2月に新たな茶の流通拠点創設を目指す「静岡茶流通センターの設置に関する基本方針」に合意し、本年度4月より本会に事務局を置き6月には、同センター設立にむけた委員会を発足させ、プロジェクト会議、作業部会や「静岡茶流通改革フォーラム」を開催し、具体的な構想(案)を検討した。

また、平成23年度より新たに、茶業振興の具体策として、榛村会頭が提唱する「茶業振興5路線」を定め、国民運動的に事業展開するため、平成25年度も引き続き積極的に活動した。

平成25年度は、「茶業振興5路線」である**第一「和産・和消、和食路線」**としては、榛村会頭が提唱する「緑茶人間」という言葉を全国に広めるため、お茶のある生活、風景、人を広く知らしていく写真コンテストを「緑茶人間」「静岡県と静岡茶」の2部門で実施し、全国から多くの応募が寄せられた。また、「和産和消」の普及推進のため「おいしいお茶の飲む店」の定義の検討を進めている。

**第二「文化・美学、癒やし路線」**として、TPOに合わせた静岡茶のPRとして「新茶郵便」の推進や全国でのイベント等の呈茶による静岡茶の美味しさPR等の活動を行った。

**第三「機能・効能、長寿路線」**として、茶の機能・効能をとりまとめた「茶の機能」発刊から10年が過ぎ、その後10年間の成果として新たに「新版 茶の機能」として取りまとめ平成25年11月1日に発刊することができた。この本を全国茶業関係者の愛読書として、今後は総合学習運動を進めいく。

**第四「食育・撫育、徳育路線」**として、近年の生活様式の多様化等により、急須で飲む喫茶習慣に代表される食文化は急速に失われつつあり、急須で入れる楽しさやお茶の歴史・文化を学習する「出前事業」を引き続き、静岡県内小学校を中心に実施した。

**第五「エコ・倫理(エシカル)、愛郷路線」**として、クリーンかつ安心して安全な静岡茶を

提供するため、茶の生産と製造に関わる者の食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着を目的に「静岡茶衛生管理者」の普及に努めるとともに、県外の消費者やメディア関係者を対象に「静岡茶」良さを体感するツアーを実施した。

今後も「茶業振興5路線」を事業の中心として具体化すべく実施していく。

## 2 公益目的事業

### (1) 明日のしずおか茶育成事業（県補助事業）

ア しずおか茶安心づくり事業（予算額 2,900,000円 決算額 765,577円）

#### (ア) 茶の生産・製造工程管理の推進

##### a T-GAP推進協議会

月日：平成25年5月30日（木）

会場：県庁

本年度のT-GAPの進め方や各団体の分担について打ち合わせを実施した。

##### b T-GAP承認委員会

月日：平成25年9月27日（金）

会場：茶業会館

第9期（平成25年3月16日～平成25年8月31日）に申請のあった新規3件（牧之原市1、掛川市2）、更新2件（菊川市2件）について3級承認した。

#### ※現在までの認定工場数

1級： 6工場

2級： 1工場

3級： 236工場

##### c JGAPとの同等性認証取得の推進

JGAP協会が同等性認証の基準を整備したことを受け、T-GAPがJGAPとの同等性認証を取得できるように、JGAPの基準について熟知している宮原マネジメントシステムと契約し、申請書類の作成に取り掛かった。

#### 第1回

月日：平成25年8月19日（月）

会場：茶業会館

JGAPとの同等性認証スケジュールの確認

#### 第2回

月日：平成25年10月24日（木）

会場：茶業会館

申請用チェックリストの確認

### **(イ) 静岡茶衛生管理者の普及**

クリーンかつ安心で安全な静岡茶を提供するため、茶の生産と製造に関わる者の食品衛生の意識改革と徹底した衛生管理を導入・定着するべく、茶の衛生管理に関する養成講座の実施を検討した。

#### **a 静岡茶衛生管理者認定委員会の開催**

##### **・第1回**

月日：平成25年10月9日(水)

会場：(株)静岡茶市場

本年度の推進計画及び特別講義の内容について検討を実施した。

#### **b 衛生管理者打合せ**

月日：平成25年6月19日(水)

会場：茶業会館

衛生管理者養成講座の推進にあたり委託契約を結ぶカムイブレンズコンサルタントと、特別講義について打ち合わせを実施した。

#### **c 静岡茶衛生管理者有資格者へのサポート**

##### **・メールマガジンの配信**

メールマガジンの配信を希望したパソコン74件、携帯電話7件へ、8回のメールマガジンを配信した。

##### **・ロゴマークの製作打合せ**

月日：平成25年6月27日(木)

会場：静岡市 静岡デザイン専門学校

一般の方にわかりやすく伝える事の出来るロゴマークの製作について打ち合わせを実施したが、カリキュラムの設定上難しいことが判明した。

### **(ウ) 安全・安心体制への取組の周知について**

#### **a 体系図製作打合せ**

月日：平成25年6月19日(水)

会場：茶業会館

T-GAP、衛生管理者の推進に協力してもらっているカムイブレンズコンサルタントと、県内における安全・安心の体系図について製作を検討した。

イ しずおか茶ファン創出事業（予算額 12,680,000 円 決算額 6,072,055 円）

(ア) 消費者等への出前講座の開催

a 小学生出前講座

No.	実施日	小学校名	学年	児童数	座学講座・体験内容
1	9月2日	御殿場市立御殿場南小学校	3	127	お茶の歴史、お茶の成分と効能、お茶あてクイズ
2	9月4日	御殿場市立朝日小学校	3	76	お茶の種類、お茶の製造方法 お茶の試飲体験
3	9月5日	牧之原市立細江小学校	3	74	お茶の歴史、静岡の茶産地、 お茶の成分と効能
4	9月5日	島田市立島田第五小学校	3	48	お茶の製造の仕方 お茶のいれ方
5	9月6日	掛川市立西郷小学校	3	57	歴史、産地、種類、機械揉み 茶、成分と効能
6	9月10日	富士宮市立富士根南小学校	3	180	お茶の歴史 美味しいいれ方
7	9月10日	掛川市立日坂小学校	3	11	日坂、東山地区のお茶づくり や歴史、お茶あてクイズ
8	9月11日	掛川市立横須賀小学校	3	68	お茶あてクイズ
9	9月12日	御前崎市立浜岡東小学校	3	48	お茶の歴史 美味しいいれ方
10	9月13日	掛川市立東山口小学校	3	18	お茶の成分と効能 美味しいいれ方
11	9月17日	富士市立吉永第二小学校	3	26	静岡の茶産地 美味しいいれ方
12	9月17日	静岡市立清水有度第二 小学校	4	118	お茶の歴史、種類、成分等 美味しいいれ方、お茶あてク イズ（クイズ優先）
13	9月17日	島田市立相賀小学校	3, 5	12	お茶の種類
14	9月18日	静岡市立足久保小学校	3	41	美味しいいれ方
15	9月19日	掛川市立中小学校	3	19	お茶の製造方法、成分と効能 美味しいいれ方
16	9月20日	島田市立湯日小学校	3	5	お茶の種類 お茶の種類について見る、 さわる、飲む等
17	9月20日	森町立天方小学校	3	10	静岡の茶産地 お茶あてクイズ
18	9月24日	掛川市立大淵小学校	3	26	お茶の製造方法 美味しいいれ方
19	9月26日	富士市立今泉小学校	3	127	歴史、お茶の種類、産地、 成分効能、製造方法 美味しいいれ方 お茶あてクイズ

No.	実施日	小学校名	学年	児童数	座学講座・体験内容
20	9月26日	掛川市立上内田小学校	3	20	お茶の歴史、静岡の茶産地 お茶あてクイズ
21	9月27日	牧之原市立相良小学校	3	90	お茶の種類、お茶の製造方法、お茶の成分と効能 お茶あてクイズ
22	10月1日	掛川市立城北小学校	3	100	お茶の種類、 お茶あてクイズ
23	10月2日	静岡市立清水船越小学校	3	131	お茶の種類、お茶の歴史、 お茶の成分と効能 美味しいいれ方
24	10月2日	焼津市立和田小学校	5	82	お茶の種類、静岡の茶産地、 お茶の成分と効能 美味しいいれ方
25	10月4日	静岡市立清水小河内小学校	3, 4	15	お茶の種類 お茶あてクイズ
26	10月7日	菊川市立堀之内小学校	3	65	お茶の種類、 お茶の成分と効能 美味しいいれ方
27	10月8日	菊川市立加茂小学校	3	68	お茶の成分と効能 美味しいいれ方
28	10月10日	菊川市立内田小学校	3	42	お茶の成分と効能 いれ方
29	10月15日	島田市立伊太小学校	3	22	歴史、産地、製造方法 美味しいいれ方
30	10月17日	富士市立東小学校	3	15	お茶の歴史、お茶の種類 お茶の試飲
31	10月18日	静岡市立長田西小学校	3	138	お茶の種類、 お茶の成分と効能 美味しいいれ方
32	10月18日	牧之原市立川崎小学校	3	87	お茶の種類、お茶の製造方法 お茶あてクイズ
33	10月22日	島田市立島田第一小学校	3	68	お茶の製造方法、 静岡の茶産地 美味しいいれ方
34	10月24日	磐田市立福田小学校	4	126	静岡の茶産地、お茶の歴史 お茶試飲
35	10月25日	静岡市立賤機北小学校	3, 4	11	お茶の歴史、 お茶の成分と効能 お茶あてクイズ
36	10月28日	富士市立丘小学校	3	134	お茶の成分と効能 美味しいいれ方
合 計				2,305	

## **(イ) T P O に合わせた静岡茶の P R**

### **a 「静岡新茶郵便」 発送式**

(株) 静岡茶市場で行われた新茶初取引において、業界をあげ「安全・安心な静岡茶」をアピールするとともに、東日本大震災の被災地へ復興等を願い新茶郵便の発送式を行った。

月日：平成 2 5 年 4 月 1 5 日 (月)

会場：(株) 静岡茶市場

### **b 県知事への新茶贈呈式**

八十八夜の日、県内茶主要産地の茶娘が新茶の出来栄を県知事に伝える報告会を世界お茶まつり春の祭典会場において開催した。

月日：平成 2 5 年 5 月 2 日 (木)

会場：富士山静岡空港ターミナルビル

### **c スポーツ祭東京 2 0 1 3 ふるさと 4 7 ビレッジ**

国体の開催に合わせ全国から来場した人へ、呈茶による静岡茶の美味しさや世界農業遺産である茶草場の P R、世界お茶まつりの紹介を行った。

月日：平成 2 5 年 1 0 月 5 日 (土) ～ 1 4 日 (日)

会場：都民広場 (東京都新宿区)

## **(ウ) 「和産和消」の普及推進**

- ・「おいしいお茶の飲める店」の認証推進

月日：平成 2 5 年 8 月 2 日 (金)

会場：茶業会館

県茶商事業推進委員会において、「おいしいお茶の飲める店」の定義検討に向けての協力依頼を行った。

## **(エ) メディア等を活用した静岡茶の P R**

### **a 「静岡新茶郵便」 P R 事業**

#### **(a) ラジオコーナー「新茶にのせてありがとう」**

新茶郵便というイベントを広めるためにラジオを使った広報 (6 回放送、内 5 月 2 日は会場から出演) を行った。

ラジオリスナーから新茶とともに贈りたい相手へのメッセージを募集した (応募数 1 1 7 点)。感動を呼んだメッセージの応募者と送り先に静岡新茶を届けた。(5 0 組)

### (b)新茶を送ろうキャンペーン

世界お茶まつり春の祭典会場で、会場で新茶購入の方を対象として実施した。

月 日：平成25年5月2日（木）～5日（日）

会 場：富士山静岡空港ターミナルビル

発送数：72通

### b 日本茶インストラクター研修ツアーの実施

消費地東京での草の根的活動を実施している日本茶インストラクターに対して、静岡茶の魅力を体験してもらい、その感動を今後の講座活動に活かしてもらうためにツアーを実施した。

月 日：平成25年5月2日（木）

会 場：静岡市茶町、世界お茶まつり2013春の祭典会場他

参加数：20名

### c 「緑茶人間写真コンテスト」の実施

お茶のある生活、風景、人を広く知らしていく写真コンテストを「緑茶人間」「静岡県と静岡茶」の2部門で募集。応募点数130点

「世界お茶まつり2013秋の祭典」会場にて応募作品を掲示した。

#### ・審査会

月日：平成25年10月1日(火)

会場：茶業会館

宮井英武氏（SBS学苑講師）を審査長として実施

賞名	氏名	住所	部門名	タイトル
最優秀	中村 光年	静岡市清水区	「緑茶人間」	緑茶姉妹
優秀	望月 政子	静岡市葵区	「緑茶人間」	ポカポカの縁側で
	杉本 昌弘	藤枝市	「緑茶人間」	寝起きの一杯
	佐藤 泰弘	静岡市駿河区	「静岡県と静岡茶」	展望の茶園

#### ・表彰式

月日：平成25年11月10日(日)に世界お茶まつりに合わせて実施予定

会場：グランシップ

### d メディアツアーの実施

「世界お茶まつり2013秋の祭典」の開催に合わせ、世界農業遺産である茶草場等を海外メディアに取材してもらう事により、静岡茶を広報してもらった。

月 日：平成25年11月7日(木)に実施予定

会 場：世界お茶まつり会場、掛川市他

出席者：12名（中国、台湾、スイス、オランダ）

## ウ しずおか茶販路開拓事業（予算額 14,000,000 円 決算額 1,386,928 円）

### （ア）茶の効能等のPR

#### a シンポジウムの開催

世界お茶まつり 2013 春の祭典と協賛して、一般消費者を対象にした効能に関するシンポジウムを茶学術研究会と協働して開催した。

##### (a) 茶学術研究会公開シンポジウム「世界のお茶事情 甘くないお茶の広がり」

月 日：平成 25 年 5 月 3 日（金）

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

参加人数：70 名

講演内容：「ミャンマーにおける多様な茶生産と民族」

静岡産業大学総合研究所主任研究員 中村羊一郎

「白い芽のお茶」

静岡県農林技術研究所 前茶業研究センター長 中村順行

「科学の目で見る茶の苦渋味」

静岡県立大学食品栄養科学部助教 石井剛志

「茶産業の隆盛へ向けて」

茶研究原事務所代表取締役社長 原 征彦

##### (b) 茶学術研究会公開シンポジウム「茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」

月 日：平成 25 年 11 月 9 日（土）実施予定

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ 中ホール」

参加人数：500 名予定

講演内容：「緑茶カテキンを用いた大腸腺腫の再発予防」

岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学 清水雅仁

「肥満に対するお茶機能 ―脂質代謝の視点から―」

花王株式会社研究開発部門 時光一郎 佐久間正

「緑茶飲用と糖尿病予防」

愛媛大学大学院医学系研究科統合医科学講座 特任講師 丸山広達

「食生活（緑茶消費）とがんとの関係を統計的に考える！！」

静岡県立大学茶学総合講座 特任教授 中村順行

#### b ホームページのリニューアル事業

法人名称が変わることを機会と捉え、学習素材として、茶の機能等をより見やすく親しみやすいホームページへと変えるために、リニューアルを行った。

## **(イ) 栄西顕彰による茶の機能のPR**

喫茶養生記が記されて 800 年となることから、これまで日本人の根底に流れてきたお茶との関わりを栄西の功績等のとりまとめを岩間先生に依頼し、冊子を製作中。

## **(ウ) 異業種とのコラボレーションによる静岡茶の販路拡大**

### **a 第26回全国菓子博覧会**

静岡菓子工業組合と連携し、静岡茶や「世界お茶まつり2013秋の祭典」をPRした。

月日：平成25年4月17日（水）～4月20日（日）

会場：全国菓子博覧会会場（広島県広島市）

### **b 「第16回静岡県地酒まつり in TOKYO」**

新しい静岡茶の販路とファン発掘を行うため、静岡県地酒組合が主催するイベントにおいて、首都圏の静岡の地酒ファン約650名へ静岡茶の呈茶を行うとともに安全・安心であることや世界農業遺産である茶草場の紹介、「世界お茶まつり2013秋の祭典」をPRした。

月日：平成25年9月8日（日）

会場：如水会館（東京都千代田区）

### **c 「第26回静岡県地酒まつり in 静岡2013」**

新しい静岡茶の販路とファン発掘を行うため、静岡県地酒組合が主催するイベントにおいて、県内を中心とする地酒ファン約850名へ静岡茶の呈茶を行うとともに安全・安心であることや世界農業遺産である茶草場の紹介、「世界お茶まつり2013秋の祭典」をPRした。

月日：平成25年10月1日（火）

会場：ホテルセンチュリー静岡

### **d 第14回グルメ&ダイニングスタイルショー**

世界各国からバイヤーが集まる場を利用し、静岡茶の多様性を紹介するために、「ふじのくに山のお茶100選」に選ばれている商品を展示・呈茶し、販路拡大に努めた。

月日：平成25年9月4日（水）～6日（金）

会場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

参加社：9社

### **e 花屋でのトライアル販売報告会**

静岡県立大学経営情報学部岩崎邦彦教授のマーケティングリサーチに基づいて実施した花屋でのトライアル販売について、関係者を集め、今後の進め方について検討した。

月日：平成25年5月30日（木）

会場：茶業会館

## **(エ)消費地茶商等との連携による静岡茶販路の強化**

### **a 静岡茶の歴史・機能の紹介DVDによる静岡茶PR**

県外での静岡茶のPRのために、店頭での静岡茶の歴史や効能を流すことのできるDVDを製作し、静岡茶キャンペーンを実施している大阪府茶業協同組合へ配布した。

### **b 「こどもお茶小事典」の贈呈**

月日：平成25年8月12日（月）

場所：早稲田小学校(東京都新宿区)

東京都内の公立小学校（1,296校）へ、東京都茶協同組合と連携し、家庭科の授業で活用してもらうために、小事典を贈呈した。

### **c 弥彦神社菊まつり**

月日：平成25年11月3日（日）

場所：弥彦神社(新潟県)

新潟茶商の会と連携し、静岡茶の消費者への周知のため、一煎茶パックを配布してPRした。

### **d 明治座「秋のお茶まつり」**

月日：平成25年11月7日（木）に実施予定

場所：明治座(東京都)

東京都茶協同組合と連携し、静岡茶の消費者への周知のため、一煎茶パックを配布してPRした。

## **(オ)女性経営者等の会の推進**

HPのリニューアルに向けて、現在のHPへの意見を集約した。

## **(カ)茶流通の近代化、効率化への取組**

新たな茶流通センターの設置に向け、プロジェクト・作業部会による課題の調査・検討調整を実施した。

### **a 静岡県茶流通改革会議**

第1回

月日：平成25年4月17日(水)

会場:茶業会館

内容:事務局移行について検討した。

#### 第2回

月日:平成25年5月17日(金)

会場:茶業会館

内容:静岡茶市場と7JA茶取引所の統合案の検討課題について検討した。

#### 第3回

月日:平成25年5月31日(金)

会場:(株)静岡茶市場

内容:茶流通改革検討課題の整理及び総会附議事項について検討した。

#### 第4回

月日:平成25年6月7日(金)

会場:茶業会館

内容:茶流通改革検討課題の整理及び総会附議事項について検討した。

#### 第5回

月日:平成25年7月5日(金)

会場:茶業会館

内容:茶流通改革検討課題の整理及び検討事項について検討した。

### **通常総会**

月日:平成25年6月25日(火)

会場:茶業会館

静岡茶流通改革委員会設置要領及び静岡茶流通改革プロジェクト承認された。

### **b 静岡茶流通改革プロジェクト**

#### 第1回

月日:平成25年8月1日(木)

会場:茶業会館

内容:構想(案)について検討した。

#### 第2回

月日:平成25年10月21日(月)

会場:茶業会館

内容:取扱金額について協議した。

#### 第3回

月日:平成25年11月18日(月)に実施予定

会場:茶業会館

内容:試算・入札制度について協議予定。

### **c 作業部会**

#### 第1回

月日:平成25年9月19日(木)

会場:(株)静岡茶市場

内容:経過報告・構想案の作成について検討した。

#### 第2回

月日:平成25年10月2日(水)

会場:茶業会館

内容:構想案の作成を検討した。

#### 第3回(施設と機能部会)

月日:平成25年10月16日(水)

会場:(株)静岡茶市場

内容:施設規模について検討した。

#### 第3回(経営部会)

月日:平成25年10月17日(木)

会場:茶業会館

内容:取扱金額別試算表の検討を行った。

#### 第4回(経営部会)

月日:平成25年11月11日(月)に実施予定

会場:茶業会館

内容:施設別の試算表による検討予定。

#### 第4回(施設と機能部会)

月日:平成25年11月12日(火)に実施予定

会場:(株)静岡茶市場

内容:入札制度・要員について検討予定。

### **d 静岡茶流通改革フォーラム**

月日:平成25年9月13日(金)

会場:お茶の郷博物館

他県の茶市場実態報告及び茶の取引のパネルディスカッションを実施した。150名出席

## (2)茶業振興事業

### ア 広報・情報収集、発信事業

本会が実施している事業の告知のため、広報誌を発行していく。

### イ 茶業振興対策事業

#### (ア)杉山彦三郎翁顕彰会

月日：平成25年5月2日（木）

会場：駿府公園マロニエ広場

慰霊式と功績者の表彰を行った。杉山彦三郎賞の受賞者は次のとおり。

- ・茶品種改良・普及功績賞 中村順行（60）
- ・茶業振興功労賞 杉本充俊（68）、勝又初郎（75）、中根福次（64）

#### (イ)茶業功績者

月日：平成25年6月25日（火）

会場：茶業会館

茶業の発展向上に顕著な功績のあった者及び集団を表彰し、茶業者の活動を促進し茶業の振興に資することを目的とする平成25年度茶業功績者表彰を、茶業会議所通常総会の席上実施した。

茶業功績者 和田治夫（63） 海野光夫（69） 池野弘造（76）

#### (ウ)静岡県茶手揉茶保存会

地域茶業の振興と志気の高揚を目的に実施した。

謹製式典

月日：平成25年4月12日（金）

会場：初倉小学校及び初倉地域総合センター「くらら」（島田市）

宮内庁送達

月日：平成25年6月4日

会場：宮内庁、農林水産省、議員会館

### ウ 茶の効能研究及び「新版 茶の機能」発行事業

昨年度より、本会事業の基本である茶業振興5路線の一つである、機能・効能、長寿路線を進めるため、体系的にわかりやすくよく知るため、お茶の機能・効能を68項目にわたり論述した大冊の編纂を進めていたが、平成25年11月1日（金）に、「新版 茶の機能 ヒト試験から分かった新たな役割」として発刊した。

今後、「新版 茶の機能」を関係者で総学習し販売力強化に活かすため、消費者にクチコ

ミー斉運動、茶の成分と効能のわかりやすい情報の普及を図っていく。

#### **(ア)「茶の機能」編集委員会**

##### 第1回

月日：平成25年7月4日（木）

会場：静岡パルシェ

- ・「新版 茶の機能」の発行について
- ・シンポジウムの開催について

##### 第2回

月日：平成25年9月26日（水）

会場：ホテルアソシア静岡

- ・「新版 茶の機能」の進捗状況について
- ・配布計画について

#### **(イ)「新版 茶の機能」打合せ会**

##### 第1回

月日：平成25年8月30日（月）

会場：茶業会館

- ・「新版 茶の機能」原稿内容の確認と用語・略語について

##### 第2回

月日：平成25年9月30日（月）

会場：茶業会館

- ・「新版 茶の機能」の最終チェック

#### **(ウ)「新版 茶の機能」のPR**

平成25年11月1日に発刊された「新版 茶の機能」のPRのため、平成25年10月30日（水）・31日（木）に開催された第18回全国茶サミットにおいて、本の紹介と茶の機能・効能についてPRを行った。

#### **(エ)静岡県立大学への寄附**

平成25年6月5日静岡県立大学において、茶学総合講座が開講された。茶学総合講座の開設にあたり、奨学寄附の申し込みが静岡県立大学より依頼をうけたのでその依頼に対応した。

## エ 情報誌・茶業図書の発行事業

### (ア) 月刊誌「茶」の発行

月刊誌「茶」は、茶の総合誌として生産から流通に至る茶業全体を視野に入れた編集に心掛けるとともに、茶業関連情報発信の源として内容の向上に努めた。

購読者数は、生産状況が厳しいため全体的には微減傾向であるが、読んでためになる、購読したくなる「茶」誌の編集を目指し、新規購読者の獲得に努めた。また、主な収入源である広告収入の増加に努めた。

### (イ) 茶業関連図書の発行と販売について

「新改訂版・目で見える茶の病虫害」を始めとした茶業関連図書の販売に努めた。

## オ 委託事業

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大など特色ある茶の生産を積極的に進め、優秀な指導者の育成確保、安全・安心な茶づくりの推進をすすめ、静岡茶ブランドの確立を図るため、静岡県経済農業協同組合連合会へ委託して事業を実施した。

静岡茶の販売力強化を図るため、茶どころ静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業やリーフ茶の需要を喚起するための需要開拓を図るとともに、消費地専門店と連携してより効果的宣伝活動を実施するため、静岡県茶商工業協同組合へ委託事業として実施した。

### (ア) 生産対策委託事業(県経済連へ委託)

#### a 静岡茶安心づくり事業

安全・安心で信頼性の高い静岡茶の安定的な生産を目指すため、お茶における「良い農業のやり方」を具体的に示し、生産者の取組を評価し承認する静岡茶独自のGAP制度(T-GAP)を進め、安全性の確保だけでなく、環境への配慮や労働安全などを含めた持続可能な茶業経営を促進するため事業を進めた。

#### b 静岡茶計画的生産対策事業

静岡県の基幹作物として、県内各地において各種茶品評会への出品対策・指導を行い、高級茶の生産強化を図る。茶の製造指導者養成等の研修会の開催や人材育成と茶期ごとに生産現場への情報提供を努めるとともに消費者ニーズの掌握に努め、荒茶生産及び流通に役立てる事業を進めた。

## **(イ)静岡茶消費拡大委託事業(県茶商へ委託)**

### **a 品評会事業**

静岡茶の声価を高め消費者の嗜好に合った茶を供給するため、仕上加工技術の研鑽向上を目的とした品評会を開催し消費市場における、良質茶の安定供給体制の基礎を確立する事業を進めた。

### **b 消費拡大事業**

消費者が美味しく安全で安心して飲める静岡茶の振興策を通じて、お茶を楽しみながら味わえる潤いのある生活を図るとともに、将来の静岡茶ファンを増やすため、食育の一環として、お茶の歴史、生産、効能等の幅広い学習や美味しい入れ方教室を実施するとともに、静岡県内外の観光客等を対象とした新茶・冷茶キャンペーンの開催、茶産地に招いて、自然・文化・人々との交流や体験を通じて静岡茶をPRする事業を実施した。

## **3 収益事業**

### **(1) 茶業会館の運営管理**

業界の拠点として、広く茶業者の利活用できるような明るい環境を整えるとともに、静岡県茶業会館の保全維持・管理ならびに円滑な運営を図っている。

なお、エレベーターの改修工事については、昨年度より実施していたが、平成25年6月に改修工事が終了した。

## **4 その他の事業**

### **(1) 委員会等開催費**

#### **ア 財務委員会**

第1回

月日：平成25年6月12日（水）

会場：茶業会館

・平成25年茶業会議所理事会・総会附議事項について

#### **イ 事業委員会**

第1回

月日：平成25年6月12日（水）

会場：茶業会館

・平成25年茶業会議所理事会・総会附議事項について

第2回

月日：平成25年10月28日（月）

会場：茶業会館

- ・平成25年度上期事業実績について
- ・平成25年度下期事業計画について

## ウ 事務連絡会

### 第1回

月日：平成25年8月12日（月）

会場：茶業会館

- ・平成25年度茶業振興費について
- ・平成26年度茶業振興費制度について

### 第2回

月日：平成25年9月2日（月）

会場：茶業会館

- ・平成26年度茶業振興費制度について

### 第3回

月日：平成25年9月12日（木）

会場：茶業会館

- ・平成26年度茶業振興費制度について

### 第4回

月日：平成25年10月8日（火）

会場：茶業会館

- ・平成26年度茶業振興費制度について

## (2)「静岡茶」安全・安心対策連絡会

### ア 平成25年度「静岡茶」安全・安心対策連絡会

#### (ア) 静岡茶消費回復緊急推進協議会

### 第1回

月日：平成25年5月31日（金）

会場：(株) 静岡茶市場

平成24年度事業実績及び収支決算について

平成25年度事業計画及び収支予算について

### a 富士山キャンペーン

世界文化遺産に登録され県内のみならず全国から注目が集まる「富士山」を活用することにより、静岡茶の魅力や機能性等の情報発信を行い、静岡茶のブランド力向上及び消費拡大を図るために実施した。

全国の希望者 3, 776 人へ静岡茶の一煎パックを送った。

期 間：平成 25 年 8 月 12 日(月)～21 日(水)

応募者数：10,112 名

#### **b 静岡茶キャンペーン inOSAKA**

大阪府茶業協同組合加盟店 21 店舗において、静岡茶の販売拡大へのキャンペーンを実施した。

期 間：平成 25 年 8 月 10 日(土)～10 月 15 日(火)

応募者数：1,463 名

#### **c 静岡茶キャンペーン inTOKYO**

東京都茶協同組合加盟店 244 店舗において、静岡茶の販売拡大へのキャンペーンを実施した。

期 間：平成 25 年 10 月 1 日(火)～10 月 25 日(金)

応募者数：453 名

#### **d 静岡茶フェア inNAGOYA**

県、静岡県大型観光キャンペーン推進協議会、名古屋茶業青年団と連携し、静岡茶の中部圏での販路拡大に向け PR した。

呈茶数：1,470 杯

月日：平成 25 年 10 月 20 日(日)

会場：金山総合駅連絡通路橋イベント広場

### **(3) 会員団体助成事業**

本県茶業を維持・発展していくため、消費者ニーズに対応した良質茶の生産、基盤整備・改植の推進、品種茶の生産拡大など特色ある茶の生産を積極的に進め、優秀な指導者の育成確保、安全・安心な茶づくりの推進をすすめる等、静岡茶ブランドの確立を図るため、静岡県経済農業協同組合連合会へ助成事業を実施した。

静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等に関する施策を積極的に推進するため、静岡県茶商工業協同組合へ助成事業を実施した。

#### **ア 生産対策助成事業(県経済連へ助成)**

##### **(ア)計画的生産事業**

茶期ごとに生産販売姿勢を作成し、計画生産販売指導を行う。

茶業関係団体を通じて、県外茶産地と協議検討し、全国茶生産量調査や全国茶品評会を開催した。

東京電力原発事故にともなう放射能汚染に対する技術指導や補償対策を引き続き行った。

### **(イ)製茶業者指導事業**

製茶工場に対して、共同管理、茶園集積、経営、生産対策等についての代表者研修会を開催した。

製茶業者を対象に、最新の研究情報、経営・リーダーとしての資質、各種情勢報告、茶の展望等、これからの静岡県茶業についての全体研修会を行った。

静岡県内農協の荒茶販売を強化するため茶市場機能の近代化に向けて、県内農協グループとして新たな取引方法の具体策の検討を取組んだ。

### **イ 静岡茶消費拡大助成事業(県茶商へ助成)**

静岡茶の普及のため情報の収集・発信を行い、健康的で文化的な食生活と食文化の維持、緑茶の効用や知識の普及、食育の推進等を積極的に推進した。

一般の方々にお茶を楽しみながら味わえる潤いのある生活と地域の賑わいの実現など地域社会の健全な発展を図った。

また、将来の静岡茶ファンを増やすため、県内小学生中高学年を対象に、静岡県のお茶の歴史や生産、効能等の幅広い学習や美味しいお茶の淹れ方教室の開催や市町等と連携して、県内外から来る観光客等を対象に新茶及び冷茶のキャンペーンの開催、茶産地に招いて、自然・文化・人々との交流の体験を通じた静岡茶の広報を実施した。

## **5 理事会・総会**

### **(1)理事会**

#### **ア 理事会**

平成24年度事業・会計報告並びに役員改選及び静岡茶流通改革委員会の設置要領・静岡茶流通改革プロジェクトの設置について開催し原案のとおり承認された。

日 時：平成25年6月25日（火）

会 場：静岡県茶業会館

議 事：通常総会附議事項について

### **(2)総会**

#### **イ 通常総会**

平成24年度事業・会計報告並びに役員改選及び静岡茶流通改革委員会の設置要領・静岡茶流通改革プロジェクトの設置について開催し、原案のとおり承認された。

日 時：平成25年6月25日（火）

会 場：静岡県茶業会館

議 事：平成24年度事業報告の承認について

平成24年度一般会計、特別会計の収支決算書、貸借対照表並びに財産目録について

役員改選について

静岡茶流通改革委員会設置要領制定及び静岡茶流通改革プロジェクトの設置について

## 6 公益社団法人静岡県茶業会議所への移行の経過について

年月日	会議所	県	内 容
平成23年 10月7日	理事会		公益社団法人への移行の承認
11月4日	財務委員会		専門部会の設置
12月2日	公益社団法人化 専門部会		新定款、事業の公益性
平成24年 1月30日	公益社団法人化 専門部会		会員、公益事業
2月21日	公益社団法人化 専門部会		公益事業比率、茶業振興費
3月6日	財務委員会		専門部会（報告）
6月20日	公益社団法人化 専門部会		茶業振興費
6月20日	財務委員会		専門部会（報告）
6月26日	理事会・総会		専門分会検討結果（報告）
平成25年 2月20日	理事会・臨時総会		公益社団法人への移行について 定款、諸規定の承認、申請について
3月25日	理事会・総会		公益社団法人定款の承認
3月29日		移行認定申請	県へ移行申請（会議所→知事）
7月30日		移行認定申請 取下げ	県法務文書課の指導により、平成25 年度予算で再申請のため
8月 8日		移行認定申請	県へ再申請（会議所→知事）
9月 2日		静岡県公益認定等審議会	審査開始
9月 6日		静岡県公益認定等審議会	補正・修正
10月11日		静岡県公益認定等審議会	答申（審議会→知事）
10月21日		静岡県知事	認定書の通知（知事→会議所）
11月 5日			設立登記 社団法人静岡県茶業会議所の解散
平成26年 1月16日 （予定）	理事会・総会		旧法人の事業・決算の承認（11月4 日まで）新法人の事業・予算の承認 （11月5日から3月まで） 役員の変更

## 7 役職員等（平成25年11月4日現在）

（役員）

役 職 氏 名 所 属

会 頭	榛村 純一	学識経験
副 会 頭	齋藤松太郎	県 茶 商 (県茶商理事長)
〃	大石 眞吾	県 経 済 連 (経営管理委員会会長)
専務理事	中田 義廣	学識経験者
理 事	天野 一	〃 (県議会議員)
〃	勝又 初郎	〃 (静岡県茶手揉保存会)
〃	西原 茂樹	〃 (牧之原市)
〃	増井 良夫	〃 (静岡茶市場)
〃	堀川 知廣	〃 (静岡産業大学)
〃	中川 敏昭	県 経 済 連 (J A静岡市)
〃	山本 幸夫	〃 (J A大井川)
〃	山下 太市	〃 (J Aハイナン)
〃	田中 鉄男	〃 (J A掛川市)
〃	堀内 和清	〃 (J A遠州夢咲)
〃	原田 康	県 茶 商 (ハラダ製茶株)
〃	渥美 富夫	〃 (株鈴和商店)
〃	松葉 隆夫	〃 (マツバ製茶株)
〃	朝比奈明夫	〃 (株朝日園)
〃	成岡 揚蔵	〃 (協和製茶株)
監 事	佐々木余志彦	県 茶 商 (佐々木製茶株)
〃	長田 辰美	〃 (株おさだ製茶)
〃	高橋 邦広	県 経 済 連 (J A遠州中央)
〃	赤堀 雅博	県 経 済 連 (J A静岡経済連)

(職 員)

総務部

参 事	鈴木 英志	(静岡県より研修)
専 門 監	佐塚 高	(県経済連より出向)
総務課長	天野 尊人	
総務主幹	長藤 利華	
主 事	大倉 巧	(静岡県へ出向)

編集部

編集部長	中小路和義	
主 事	飛坐 愛美	
参 与	白井 満	静岡県経済産業部茶業農産課長
	藤田 文敏	静岡県茶商工業協同組合専務理事
	平野 久	静岡県経済農業協同組合連合会茶業部長

顧問 柳澤 伯夫  
鈴木 脩造

(事業委員会)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	勝又 初郎	学識経験者 (静岡県茶手揉保存会)
副委員長	中川 敏昭	県経済連 (J A静岡市)
〃	渥美 富夫	県茶商 (株鈴和商店)
委 員	勝亦 光明	県経済連 (J A富士市)
〃	市川 勝三	〃 (J A富士宮)
〃	堀内 和清	〃 (J A遠州夢咲)
〃	深澤 貞博	〃 (県協同製茶協議会)
〃	増田 剛巳	〃 (県製茶業協議会)
〃	高森 功	県茶商 (株高森商店)
〃	渡辺 栄一	〃 (株山大園)
〃	成岡 揚蔵	〃 (協和製茶株)
〃	一言 藤夫	〃 (株丸藤一言商店)
〃	丸山 勝久	〃 (丸山製茶株)
〃	堀川 知廣	学識経験者 (静岡産業大学)
〃	中田 義廣	〃

(財務委員会)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	天野 一	学識経験者 (県議会議員)
副委員長	田中 鉄男	県経済連 (J A掛川市)
〃	高柳 虎夫	県茶商 (株高柳製茶)
委 員	市川 逸朗	県経済連 (J Aなんすん)
〃	望月 潔	〃 (J Aしみず)
〃	山本 幸夫	〃 (J A大井川)
〃	山下 太市	〃 (J Aハイナン)
〃	赤堀 雅博	〃 (J A静岡経済連)
〃	原田 康	県茶商 (ハラダ製茶株)
〃	朝比奈明夫	〃 (株朝日園)
委 員	松葉隆夫	県茶商 (マツバ製茶株)
〃	和田治夫	〃 ((有)和田長治商店)
〃	堀内 尚	〃 (丸堀製茶株)

〃	増井良夫	学識経験者（静岡茶市場）
〃	中田義廣	〃

（静岡茶放射能被害対策委員会）

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	勝又 初郎	学識経験者（県茶手揉保存会）
副委員長	中川 敏昭	生産関係（J A静岡市）
〃	渥美 富夫	流通関係（県茶商）
委 員	望月 潔	生産関係（J Aしみず）
〃	平野 久	〃（J A静岡経済連）
〃	齋藤松太郎	流通関係（県茶商）
〃	和田 治夫	〃（市茶商）
〃	藤田 文敏	〃（県茶商）
〃	白井 満	行 政（静岡県）
〃	築地 伸幸	〃（静岡市）
〃	松尾 喜義	研究機関（野菜茶業研究所）
〃	松本 昌直	〃（茶業研究センター）
〃	奥野 健二	専 門 家（静岡大学理学部）
〃	森田 明雄	〃（静岡大学農学部）
〃	原 征彦	学識経験者（しずおか産業創造機構）